

平塚市スポーツ推進計画（素案）に対するご意見及び市の考え方について

No.	意見内容	対応
1	<p>平塚市スポーツ推進計画素案2章3. (3)表2-9の市内の日本体育協会公認指導者数(平成24年度)有資格者の積極的活用をお願いします。 ※表中のスポーツリーダー+スポーツ少年団認定員が漏れているのではないのでしょうか。</p>	<p>本計画では、「スポーツ指導者の発掘と活用」を基本的施策の1つに位置付けています。本計画に基づき、スポーツ指導者を積極的に活用してまいります。 表2-9中のスポーツリーダー+スポーツ少年団認定員については、スポーツリーダーと重複することから記載しておりません。</p>
2	<p>障害者のスポーツ活動の姿が見られないことから、障害者スポーツの普及、機会を増して頂きたい。また、指導者の育成、支援者の増強をお願いしたい。</p>	<p>本計画では、「障がい者のスポーツへの参加促進」を基本的施策の1つに位置付けています。本計画に基づき、障がい者のスポーツへの参加支援や機会の充実を図ってまいります。 障害者スポーツ指導者の育成については、日本障害者スポーツ協会や日本体育協会の動向を踏まえながら、県や関係団体と連携し、検討してまいりたいと考えております。</p>
3	<p>本案に記載されている「目標」は「基本目標」とある通り、抽象的であり、具体性に乏しい。また、その目標を達成するにあたっての具体的「手だて」の記述もない。さらに体振やスポーツ推進委員がすでに行っているものもある。 以上の点から、平体振に今後何が求められているのかが不明である。来年度から本計画をスタートするにあたり、早急に「具体的目標」と「目標達成への手だて」を作り、それから平体振の意見を求めるべきである。</p>	<p>本計画は、市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送ることができるよう、スポーツに関する総合的な計画として策定するものであることから、個別具体の目標を立てておりませんので御理解ください。 目標を達成するにあたっての手だてとして、基本的施策、具体的施策を位置付けております。また、目標を達成するためには新規事業だけではなく、現在行っているものを継続して行う必要があると考えております。 平塚市体育振興連絡協議会に担っていただく役割については、本編74ページ及び概要版6ページに記載しております。 また、平塚市体育振興連絡協議会に取り組んでいただく具体的施策については、本編で平塚市体育振興連絡協議会の団体名とともに記載しております。 今後、取組みを進めていくにあたっては、各種スポーツ団体の代表が参加されている平塚市スポーツ推進審議会などでも、協議してまいりたいと考えております。</p>

No.	意見内容	対応
4	<p>「機会の充実」という言い回しが多用されている。「充実」とは内容を豊かにするということであり、「機会」とは結びつかない。「機会を増やす」と表現すべきではないか。</p>	<p>国の「スポーツ基本計画」においても、「機会の充実」という表現を使用しているため、本計画においても「スポーツ基本計画」との整合を図り、「機会の充実」と表現しております。</p>
5	<p>「本市のスポーツの現状と課題」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で数字や統計結果が出ているが何の調査の結果なのかわからない。 ・観戦したいスポーツで野球とソフトボール、バスケットとバレーが一括りにされているのはおかしい。平塚を拠点とするプロスポーツの関係？ ・「課題」のところで「～の充実」とあるのは、現状が不十分だということなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字や統計結果の出典については、本編に記載しております。概要版については、計画の概要を示すものであり、出典については省略しておりますので御理解ください。 ・観戦したいスポーツについては、「平塚市民における体力・スポーツ関係事項調査」の結果より引用しております。一括りにされているのは、神奈川県が実施した「県民の体力・スポーツに関する調査」を参考に作成したためです。 ・現在行われているものの全てが不十分ということではなく、市民のニーズ、今後の社会・生活環境の変化等を踏まえ、現在行っているスポーツ施策をさらに豊かにしたいと考え、「～の充実」と表現しております。
6	<p>「計画指標」について、数値目標の根拠が不明である。</p>	<p>数値目標の根拠については、本編77ページから80ページに記載しております。概要版については、計画の概要を示すものであり、数値目標の根拠については省略しておりますので御理解ください。</p>

No.	意見内容	対応
7	<p>本案では、生涯スポーツ・地域のスポーツ・トップスポーツ・環境づくりなどすべてを網羅していますが、画餅に帰しかねません。特にトップスポーツは市があまりかかわらない方がいいと思う。Jリーガーや国体選手を増やすなどという目標を平塚市が掲げるべきではないと思います。</p>	<p>市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送ることができるよう、本計画に基づき、様々な視点で具体的な取組みを実施します。トップスポーツについては、国の「スポーツ基本計画」で「スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツの連携・協働の推進」が謳われているとおり、本市から輩出されたスポーツ選手が地域におけるスポーツの推進に関わることで、本市スポーツの活性化が期待されることから、トップスポーツの推進についても取り組んでまいります。</p> <p>なお、本計画は市民のスポーツ活動を活性化するために必要な様々な取組みを位置づけた本市スポーツ施策の方向性を示すものと位置付けております。</p> <p>個別・具体的な目標等については、平塚市スポーツ推進審議会でも協議してまいりたいと考えております。</p>
8	<p>湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズの試合におけるShonan BMW スタジアム平塚、平塚球場、平塚総合体育館の収容人数に占める総入場者数の割合を H24 27.4%⇒H35 30.1% に増やすという目標がありますが、3つの団体を一緒に考えず、入場者数は個別に判断すればよいと思います。</p> <p>また、ベルマーレの入場者数についてですが、なかなかスタジアムが満員にならないのが現状です。一番大きな原因はスタジアムが見にくいことだと思います。また、身障者は現状スタンド軒下でしか観戦できません。これらのことを踏まえてスタジアムのスタンドの増設(身障者用の席設置も含む)の検討をお願いします。</p>	<p>湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ、それぞれの競技や置かれた状況は異なりますが、本計画では、「観る」スポーツに関わる人を増加させることを目標に、本市でホームゲームを開催するプロスポーツチームを掲げております。</p> <p>また、ShonanBMWスタジアム平塚の観戦のしづらさ、収容者数及び車いすのスタンド軒下観戦対応につきましては、本市としましても課題があることを把握しております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、財政状況等を勘案しつつ今後のあり方について、検討させていただきます。</p>

No.	意見内容	対応
9	<p>Shonan BMW スタジアム平塚については、メインスタンドやバックスタンドに限って座席が設置してあります。座席だけでなく、屋根のあるスペースも限られており、雨天だけでなく、夏場など日差しを遮れないため、スポーツを観る環境としては不十分であると考えます。</p> <p>また、Shonan BMW スタジアム平塚は場内の移動経路やトイレなどバリアフリーとなっていない部分も多くなっています。</p> <p>平塚市で唯一公共の陸上競技場である湘南BMWスタジアム平塚を、より魅力的で市民の誰もが利用しやすい施設とすることで、スポーツ推進計画を実現することを望みます。</p>	<p>ShonanBMWスタジアム平塚の観戦のしづらさにつきましては、本市としましても課題があることを把握しております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、財政状況等を勘案しつつ今後のあり方について、検討させていただきます。</p>
10	<p>Shonan BMW スタジアム平塚で本年9月28日に開催された浦和レッズ戦においては、座席がほぼ満席で、ゴール裏もほぼ満杯入ったにもかかわらず入場者数は13,743人だった。J1基準の15,000人を数字上は満たしているが、安全面等の問題を考えると実際には15,000人を入場させることが難しい状況である。</p> <p>また、観客席への屋根の設置も、現状では屋根のある席はメインのごく一部に過ぎない。</p> <p>バリアフリーの観点ではShonan BMWスタジアム平塚は非常に厳しいスタジアムである。どのゲートから入場するにも階段があり、車椅子では入る通常の観客席には入ることができない。</p> <p>さらに、ゴール裏の立ち見席は高さが低く、非常に観戦しづらい席である。</p> <p>以上のことから、本計画の基本目標3 トップスポーツの推進「トップスポーツの活用」の中にShonan BMWスタジアム平塚の全面改修を盛り込んでいただきたい。</p>	<p>ShonanBMWスタジアム平塚の観戦のしづらさにつきましては、本市としましても課題があることを把握しております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、財政状況等を勘案しつつ今後のあり方について、検討させていただきます。</p>

No.	意見内容	対応
11	<p>現状の平塚競技場の状態と構造が悪い為、身体障がい者、小中学生、乳幼児連れの家族、シニアの方々には大変不便な構造になっている。</p> <p>また、J1クラブライセンス付与の条件が2015年からは厳しくなる模様であり、湘南ベルマーレ自体が良い成績を収めても、Shonan BMW スタジアム平塚が施設・設備としての必要条件を満たさなければ、J1に残留・昇格することを認めてもらえない状況になる。</p> <p>来場者数の増加による湘南ベルマーレの経営状況の改善、平塚出身の日本代表レベルの選手の確保・輩出、クラブの存在価値の向上など良い影響を得られる。</p> <p>実際の最大収容可能数が15,000人弱しかないのも判明していることから、更なる集客の為に、観戦・応援し易い、安全で社会的弱者にやさしいスタジアムの環境の構築は今後の東京オリンピックのサッカー競技予選試合開催やキャンプ地の立候補・誘致、W杯日本単独開催実現時の試合開催も視野に入れた全面改修が必要だと思えます。</p>	<p>本計画では、「地元トップアスリートの輩出」、「湘南ベルマーレとの連携強化」を基本的施策の1つに位置付けています。本計画に基づき、トップアスリートの輩出を図ってまいります。</p> <p>ShonanBMWスタジアム平塚の観戦のしづらさ及びクラブライセンス付与の条件の厳格化につきましては、本市としても課題があることを把握しております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、財政状況等を勘案しつつ今後のあり方について、検討させていただきます。</p>